



子育てを応援する情報誌

WEB版



Vol.62★ほほえみ

(発行) 2020年 / 5月

ママ達へ
どうしてる？新型コロナウィルス騒動の毎日。
編集メンバーが、電話やメールしてアンケート
トし記事にしました。
読んでみてね。
気持ちが軽くなるかも！
ちよこつと、



立川市
イメージキャラクター
くるりん

プレママからばあば世代まで、共有できる子育てのヒント！手に取って、参考にしてね。

新型コロナウイルス自粛生活の中で ママ達、何してる？

つぶやき 不安だらけ

Aママ・・・感染しないよう、細心の注意を払っています。

でも、働きに出ている夫が菌を持ち帰ってくるかも。(同類の意見が多数)

かといって、仕事を休めば収入が減ってしまうため休んで欲しいとも言えない。補助金など貰える時期や金額、あてにしているのかなあー。

「夫はテレワーク出来ない職種」という嘆きも聞こえます。

Bママ・・・子どもを世話しながらテレワークです在宅勤務になり、子どもは保育園に行けなくなりました。家での仕事はホント大変。仕事と子育てがどちらも中途半端になっています。

Cママ・・・遊ばせる場所がなく、子どもの力が有り余っている。

公園は利用制限がかかっているし。

Eママ・・・まだ歩かない月齢の子どもとの時間の使い方に困る。散歩も出来ず一日中家に。

Fママ・・・母乳オンリーなので、感染したら隔離も出来ない。離乳食がなかなか進まない

いろんな経験をさせてあげたいけど外出できないのもどかしい。服も靴もないから困っている。

Gママ・・・保育園見学が出来ないからいつ仕事復帰出来るか？

普段ネットで頼んでいた日用品が届くのが遅く赤ちゃんのおしりふきとかは、直接買いに行き、こまったことだらけ。

Hママ・・・外に子連れでいたら、何となく視線が怖い。外出しづらくなったなあ。

20人近くのママにアンケートしました。

教えて！おうち時間

あんな悩み、こんな工夫

生まれて初めて経験する、ストレスの発散場所がない、常に何かに我慢の状態が続いている、不安な日々との戦い。

半面、暮らしを懸命に工夫したり、これまでの生活がどれだけ自由で充実した日々だったか考える機会になったり、見えなかったことが見えてきたり、考えに変化が出てきた、という声も聞かれました。



実家へ滞在しています

Iママ・・・夫の職種の関係で実家へ。感染リスクは少ないのは安心です。

普段ワンオペなので、親兄弟、姪甥が娘と一緒に遊んでくれるので、私の負担が減り大きなメリットです

デメリットもあります。

夫とのコミュニケーションが取れないこと。

パパが感染した時にはどうしようかと。

家の掃除ができないことも、気になります。

Jママ・・・ネット環境はあるので、色々と遠方とも対応は可能です。

緊急事態宣言の出る前から実家に帰省し、家事は母に全部やってもらってとても楽です。

デメリットもあります。

実家は子ども向けに部屋を作っていないので、手の届くところに物がたくさんあり、目を離せない。

我が家では、ほとんど子どもの手の届かない所に収納していますので・・・。

テレワーク中のパパ その時、ママと子どもは？

Kママ・・・何でも協力してもらっています。でも毎食、特に昼食をちゃんと作るようになったのが面倒。自分だけの時は適当でよかったのに！

Lママ・・・子どもは遊んでもらえてとても嬉しそう。その分、私自身の時間も増えて助かっています。

Mママ・・・パパは長期間、子どもと一緒にいる時間がとれてとても貴重そう。家事育児を深く理解してくれました。

パパたちのコメントから

●子どもの成長を毎日見て、「こんなに日々出来るが増えていくのか」

●家事をしながら、育児をする大変さがよくわかったよ。以前より率先して、家事も育児もやってくれるようになったとか・・・。

不自由な日々の中でも

嬉しい出来事を

見つけようね



アンケートを取って

(編集委員) 若菜・記

収束までもう少し頑張ろう！
ママ友みんなが
同じ気持ちでいることが
わかり、気が楽に。

♡これまでは、当然のように子育てひろばに行ったり、買い物したりしていました。しかしコロナの影響で近所にお散歩に出るぐらいしか外出できません。外に出た時、他の子どもを一生懸命目で追う娘を見てると、やはり子どもの成長には子ども同士との関わりが大事だと思いました。

ママ友の存在は、大きく
会話するだけで精神的に救われていたことなど、たくさんのことに気付かされました。少しずつ元通りになるよう、今が頑張り時だと思っています。

身近なもので一工夫

安全、安心で遊んでいます

養生テープで・・・壁や床に、貼って剥がしてを繰り返して、楽しんでいます！

チラシで・・・ビリビリ破いたり丸めたり。そのあと、大きなゴミ袋に空気と一緒に膨らませて、叩いたり投げたり蹴ったりしてストレス発散！最後はそのままゴミ箱へポイっ！

マスキングテープで・・・(ちょっともったいないかな？)床に貼って線路や道を作ってあげると、おもちゃの電車や車をずーっと走らせています。

台所用品で・・・泡立て器、フライがえしなどシリコン素材のものを出してたたいて喜んでいます。(包丁、キッチンばさみなどはNG)

うちの骨でシャボン玉・・・シャボンがたくさん出て面白く、ベランダで楽しんでいます。

段ボールで・・・わが子が入って遊ぶのが大好き。にゃんこみたいで見ていて癒される～

毎朝ラジオ体操で・・・パパ、ママ、子どもも一緒。運動不足解消ではじめたんだけど、ママは夏休み気分。パパは子どもと楽しいふれあいにもなってます。

早起き散歩で・・・家を朝6時ごろ出て、途中公園で遊びます。その後午前中に少しお昼寝をしてご飯。早起きする分、夜の就寝時間が早くなり、ママは自分の時間が取れるようになったメリットも！



若菜ママ&
いろはちゃん



菜津子ママ&
さえちゃん



梨絵ママ&
そうやくん

みんな同じ気持ちでいること

これまでの自由で充実していた日々と、ママ友の存在の大きさ！在宅勤務になった夫は、私の「家事をしながら育児をする大変さ」をわかってくれました。ママ友にアンケートを取りながら「みんな同じ気持ちで、ツライのは自分だけではない」ことが大きな励みになりました。

人との関わりを大切に

今回いろいろな人たちと急に会えなくなりました。改めて親族やママ友、娘のお友達の存在の大きさを実感し、いつその人たちと急に会えなくなるか分からないということを考えました。コロナ収束後は、普段からもっと関わりを大切にしていきたいと思っています。そして子供と室内で遊べる知識もつけて、これからも母子ともに一緒に成長していきたいです。

楽しい事を考えて

乗り切りたい

あれがしたい！これがしたい！と色々なことを考えたり妄想しているだけで、なんだか少し心が軽くなる気がします！我慢の日々ですが、ひろばや公園で、ママ友達と笑いあっていた日々、子どもたちが遊んでいる姿を微笑ましく見守っていた時。そんな大切な日常が早く戻ってきますように！と心から願っています。

編集後記 と雑感

一年間の記者気分

親子で
私たち
編集委員です

子育てを応援する情報誌

Vol.62・ほほえみ (Web版)

(発行) 2020年 5月

(編集メンバー)

奥山若菜 矢作菜津子 藤原梨絵

● 編集は・・・

市民から募集した編集委員のママと、NPO法人ワーカーズコープとの協働制作です。

● バックナンバーもご覧ください。

- ・ 立川市のHP(～H24年度版まで)
- ・ 立川市子ども未来センターHP (H25年度版から)

● 立川市から委託を受けて発行しています (発行元)

〒190-0022 立川市錦町3-2-26
立川市子ども未来センター内
NPO法人ワーカーズコープ
TEL:042-529-8664
FAX:042-512-8551

- ご意見・ご感想をお寄せください！
メールで、件名に「ほほえみ」と書いて
MAIL:kiratto@roukyou.gr.jpまで！

※個人情報は、本誌制作活動・イベント活動以外には使用致しません。